

幼保小の架け橋
プログラム

中学校区での工夫した取組について

～組織をつなぐ・人をつなぐ・教育をつなぐ～

令和4年3月、文部科学省が「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き」を策定しました。東部地区の各校区におかれても、幼保小の連携・接続に向けて園と小学校が協力し、お互いの保育・教育を見合ったり語り合ったりしながら、架け橋期のカリキュラムの作成、そして教育の充実・改善に向けてさまざまな取組をされています。今号外では、中学校区における取組についてご紹介します。

6/4（水） 第1回北中学校区 校長・園長合同研修会

中学校区での取組です。



北中学校・久松小学校・遷喬小学校・城北小学校の校長先生、そして、鳥取第二幼稚園・愛真幼稚園・小さき花園幼稚園・ルーテル幼稚園・むつみこども園・あすなろ久松こども園・城北こども園の園長先生が、幼保小の連携についての研修や各学校・各園での取組についての情報交換等が行われました。

【北中学校 長谷川校長先生】



中学校区で、幼保小及び小中の円滑な接続や連携について研修などを行っています。例えば、園の先生方に中学生の姿を見てもらい、校区で育てたい子どもの姿についてゴールイメージを共有したり、それぞれの立場で子どもたちに付けたい力やそれぞれの思いを込めた特色ある取組について情報交換したりしています。中学校区の園と連携することで、幼保小の連携に加えて義務教育のゴールも見据えて、校区の園と学校とがコミュニケーションをとりながら、教育の充実を図っていききたいと思います。



【あすなろ久松こども園 富吉園長先生】



昨年度、小学校の先生に園の子どもたちの様子を見ていただいたことが、保育についてのより深い理解へとつながったことは、私たち保育者の励みとなりました。学校から声を掛けていただくことはとてもありがたいことです。



町全体での取組です。

7/3（木） 第1回岩美町架け橋プログラム推進会



岩美町では、「スクラム教育」として、保小中の連携を進め、町全体で一貫した取組を行っています。7月3日（木）の会では、岩美町の3小学校区の先生等が集まり、それぞれの校区の「期待する子ども像」について情報共有しました。各保育所・学校の子どもの強み・弱みをそれぞれ出し合いながら、架け橋期の2年間で育てたい子ども像について協議しました。

【岩美町教育委員会事務局 河上参事】



「スクラム教育」で小学校と保育所との交流をずっと続けてきています。職員同士・子ども同士のつながりをさらに深めることで、気軽に連携し合える関係を築いていきたいです。

子どもの育ちと学びはつながっています。幼児期は「遊び」を通して、学びの土台となる資質・能力を身に付ける時期です。小学校においては、幼少期に身に付けた資質・能力を生かし、伸ばしながら教科等の学びにつないでいくことが大切です。0歳から18歳までの学びの連続性を配慮し、「架け橋期（5歳児から小学校1年生までの2年間）」の教育の充実に努めることが大切です。子どもに関わるすべての関係者が、立場の違いを越えて、子どもの姿を中心に対話しながら、充実した架け橋期の教育が実践できるよう、引き続き、持続可能な連携の体制づくりに努めていきましょう。

幼保小の架け橋 プログラム

幼保小の架け橋プログラム推進事業



令和7・8年度幼保小の架け橋プログラム推進事業では、鳥取市・美保南小学校区（美保南小学校・鳥取第四幼稚園・のぞみ保育園）、岩美町・岩美南小学校区（岩美南小学校・みなみ保育所）、八頭町・郡家東小学校区（郡家東小学校・郡家東保育所）の3地域において取組をしています。事業は始まったばかりですが、それぞれの学校、園や保育所等では、対話や工夫を重ねながら連携・接続を進めています。

岩美南小学校区（岩美町）
七夕かざり作り・ドッジボール交流



一緒に作ってみる？

お互いに声を掛け合う場面がたくさん見られましたね。「言葉による伝え合い」の姿が育っていますね。



1年生と年長児との交流会。合同指導案を作成し、互いがねらいをもって、**互恵性のある交流**を行いました。事前に「**環境の工夫**」や「**教師の援助**」について話し合うことで、子どもたちが主体性を発揮した楽しい活動となりました。事後には、活動中に見られた子どもの姿について、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を手掛かりに協議しました。

美保南小学校区（鳥取市）
合同研修会



自分たちで工夫して衣装を作ったよ！

のぞみ保育園
「わくわくみんなまつりを楽しもう！」



どこまで高く積めるかな。小学校の先生が楽しんでくれてうれしいな。



幼児期にはたくさんの「学びの種」がまかれていますね。小学校で芽を伸ばし、花を咲かせるためには、どうしたらよいでしょう。

鳥取第四幼稚園
「友達と一緒に遊ぼう！」



ありがとう。

こうすると貼りがやすいよ。

幼児期の豊かな発想や意欲を小学校で生かす工夫を考えていきたいです。



郡家東小学校区（八頭町）
合同研修会



郡家東保育所
「おばけやしきのおばけスポットを作ろう！」



見通しをもったり、自分たちで考えたりしながら意欲的に活動するために、環境の工夫が大切だと学びました。



夏休みを利用して、小学校の先生が園の保育を参観し、理解を深める研修を行っています。美保南小学校も郡家東小学校も、**多くの教職員**が参加し、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」をもとに子どもの姿を見することで、小学校以降の学習や生活との**つながり**を確認したり、お互いの保育・教育で**工夫できること**を考えたりすることができました。

「架け橋訪問」 お世話になっています

東部教育局では、幼保小の円滑な接続に向け、幼児期の教育の重要性をお伝えするため、架け橋訪問を行っています。3年間で東部地区のすべての小学校を訪問する予定としており、本年度は2年目です。各学校等におかれては、連絡協議会や連絡会、授業・保育参観、全教職員参加での研修会等、さまざまな場を設定していただいております。今後も、子どもたちのよりよい育ちのため、一緒に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



実態や取組はさまざまですが、工夫しながら連携を進め、子どもやお互いの教育・保育について理解を深めている校区が増えています。相互理解が進んだら、次の段階である「教育をつなぐ」ために、カリキュラムの策定を進め、目指す子ども像や資質・能力、遊びや学びのプロセスを共有しながら幼保小接続の推進に取り組んでいきましょう。